

令和2年度 清原中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

①活力ある生徒 ②よく考え、創造する生徒 ③豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

①頑張る人 ②考える人 ③思いやりのある人

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

豊かな心と健やかな身体をもち、社会の変化に主体的に関われる能力や創造力を培い、自らの向上とより良い社会の発展を目指し、国際社会に生きる人間性豊かでたくましく生きる生徒を育成する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）教職員の和を基調とし、「教師が変われば、生徒も変わる」を信条に、師弟同行の実践を踏まえ、「生徒を前面に出し、見守り・見届ける」生徒指導に徹する。
- （2）知・徳・体の調和を図り、各教科等において基礎・基本、体験的な学習や課題学習、個に応じた指導を重視し、自ら学ぶ態度を育成する。
- （3）道徳教育・人権教育・国際理解教育の充実と各教科、総合的な学習の時間、特別活動等の特質に応じた指導の深化を図り、生徒の活力を醸成する。
- （4）一人一人の生徒が自己の特性について理解を深め、進路に関する情報を収集・活用し自らの生き方を探求するとともに、進路の選択・決定ができるよう、学校、家庭及び地域社会との連携を密にしながら、指導・支援に努める。
- （5）緑に恵まれた環境を活かし、思いやりや助け合う心を育て、特色ある学校づくりに努める。
- （6）教職員の働き方改革に向けて、生徒と向き合う時間の確保及び就労時間の削減のために、日課の工夫や IT を活用した業務の効率化を図る。

【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

本校教育目標を達成するため、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階と特性等を十分考慮し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成が図れるよう各教科等の指導内容、指導形態、時数等の相互の関連を考慮し、教育課程を編成する。その際、学力の基礎・基本の定着、心の教育、健康安全の確保、地域とともにある学校づくりに留意する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学校運営 】

思いやりをもち、認め合い、助け合いながら良好な人間関係を築ける生徒の育成

【 学習指導 】

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と根気強く学習に取り組む生徒の育成
- ・学習に自主的・主体的に取り組み、他者との対話を通して、自らの学びを深めることができる生徒の育成

【 生徒指導 】

基本的生活習慣の定着

○ふわふわ言葉（やさしい言葉）の推進・ちくちく言葉（人を傷つける言葉）の禁止

【 健康（体力・保健・食・安全） 】

○健康教育及び安全教育を推進し、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 授業中は、教師の指示や説明を集中して聞くようにさせ、落ち着いた学習環境作りに努める。 ② 生徒がグループで話し合う場面や発表する場면을意図的・計画的に設定し、主体的に学習できるようにする。 ③ 学習委員会での、自主学習ノートの展示や定期テストの予想問題作成等を通して、学習に意欲をもって取り組むようにさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学級の当番活動や係活動では、互いの役割を尊重する意識を高める。 ② 道徳の授業で、思いやりについて考えさせ、日常生活において思いやりの心を態度で示すようにさせる。 ③ 教職員は、生徒の周囲に対する望ましい態度や声かけに対して、日常的に認め、称賛することを心がける。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上	① 委員会活動での生徒の自主的な活動を掲示物等で知らせ、自分の役割を果たすことやルールを守ることの大切さを理解させ、基本的な生活習慣の習得を図る。 ② 教職員が決まりやマナーをしっかりと守った行動をすることにより、生徒の規範意識を高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上	① 学級での朝の会や帰りの会時のあいさつ、授業開始時・終了 時のあいさつ、給食時のあいさつを徹底する。 ② 生徒会を中心とした、あいさつ運動を週 1 回実施する。 ③ 教職員が自ら率先してあいさつを行うことで、生徒のあいさつへの意識を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学級活動では、様々な職業の社会的役割や意義を理解させ、自己の生き方を考える指導を取り入れ、学習の意義や価値を考えさせる。 ② 将来の目標に近づくための進路実現を目指して、テスト前学習に計画的に取り組ませ、テスト後は結果の振り返りを行わせることで、粘り強く学習に取り組ませる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 保健だよりや給食だよりを定期的に発行し、生徒へ健康や安全の重要性について伝える。 ② 朝食や給食を残さず食べること、歯磨きに関する強化週間を設け、健康や食生活に対する意識を高める。 ③ 実技や実験、実習作業を伴う授業においては、安全に配慮するよう指導を徹底する。 ④ エアコン使用の適切な運営や熱中症計の設置、冬季には加湿器の設置を行い、熱中症や感染症の予防に努める。 ⑤ 避難訓練を年 2 回行い、災害安全や防災に対する関心を高めさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学級活動や道徳で、自己を見つめ、自分が社会のためにできることは何か考えさせ、未来を担う社会人を目指して、夢や目標をもつことの大切さを理解させる。 ② 地域の貢献や社会奉仕の意義を理解させ、ボランティア活動や地域行事に進んで参加できる態度を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① ALTやT2との授業の際、small talk を使って英語でコミュニケーションをとる場の設定をする。 ② 英語の授業では、教員が発する英語の指示に生徒が英語で反応する学習機会の場面を多く設定する。 ③ 「ALTとコミュニケーション週間」を年に3回設定し、英語を積極的に使う機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 各学年の「総合的な学習の時間」において、宇都宮の良さを学ぶ探究活動となる年計を教科横断的に再構築し、指導の充実を図る。 ② 教科で地域の良さや学校の良さに触れる題材や学習場面を設定し、郷土に目を向けさせることで、宇都宮の良さに気付くようさせる。 ③ 学校給食の郷土食や宮っ子ランチを教材にして、宇都宮の歴史や文化について考えさせ、郷土への愛情と誇りをもたせる。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 生 徒 の 姿	A10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 75%以上	① 各教科で、生徒がパソコンや図書を活用した授業を年間2回以上行う。 ② 授業参観や一人一授業の公開授業では、I C Tや図書等を活用した授業を行う。 ③ 技術科の授業を中心に、I C T機器の正しい活用の仕方を指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 75%以上	① 9月の敬老の日に合わせて、道徳の「社会参画、公共の精神」の内容項目を扱い、各家庭の祖父母などの高齢者に対して感謝やいたわる心をもたせる。 ② 地域の老人会運動会に、生徒ボランティア参加を積極的に活動させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 70%以上	① 「持続可能な社会」についての掲示物を作成し、生徒に啓発する。 ② 教室にプラスチックごみ箱、リサイクルボックスを設置し、持続可能な社会の実現に向けた行動に関心を高めさせる。 ③ 緑化委員会による花壇の整備、中庭の環境向上や、地域協議会と連携したマツのこも巻き活動を通して、校内の緑化活動を推進する。 ④ 避難訓練を年2回行い、災害安全や防災に対する関心を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 85%以上	① 特別な支援を必要とする生徒について、教育相談・特別支援教育部会で継続的に状況を共有していく。 ② 心配な生徒に関して、校内でケース会議を開催し、チームで支援の方法を考える。 ③ かがやきルームや適応支援教室の適正な運用を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上	① いじめアンケートや日常的な観察から、いじめの早期発見、早期解決をするとともに、未然防止に努める。 ② 学級担任は、いじめは絶対に許さない姿勢で学級経営を行うとともに、全教職員は、生徒の言動に気を配るようにする。 ③ 保護者会や学校・学年・生徒指導日より・HPなどで、いじめの未然防止について取り上げ、いじめ根絶に向けた本校の取組を発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 85%以上	① 学級担任は、係活動や当番活動、授業中の発表などで生徒一人一人の取組の良さを見出し称賛することで、生徒にとって居がいのある学校生活となるような学級経営を目指す。 ② 教職員同士で生徒の望ましい言動を伝えあい、生徒の自己肯定感を高めることで、学校全体として生徒を見守り、見届ける指導をする。 ③ 保護者へ連絡をする機会に、生徒の良い点を意図的に伝えるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 85%以上	① 日本語指導に係る母語指導者や日本語ボランティアの配置や日本語指導に係る教材の準備をする。 ② 外国人生徒の学習・生活体験等について国際理解担当教員が中心となって、ケース会議を開くなどして学級担任や学年主任と連携し、共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 学校生活全般において教職員が意図的・計画的に、生徒の頑張りや良さを認め、励まし、称賛する場面を積極的に設けることで、生徒自身の有用感を実感できるようにする。 ② 生徒会活動を中心に生徒の自発的・自治的活動を取り入れて、生徒が前面に出よう指導にあたる。また、学校全体がさらに明るい雰囲気となるような諸活動を推進し、生徒が自分の学校に誇りをもてるようにする。 ③ 教職員一人一人が自信をもって自分の業務に取り組み、生徒と関わることで、学校全体が明るい雰囲気になるように努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上	① 授業で、「本時の目標」を適切に提示することで学習に見通しを持たせ、「振り返り」の時間を確保することで、学習の達成感をもたせる。 ② ペアやグループ学習を取り入れた対話的な活動やICTの活用や教材・教具を工夫するなど視覚的な活動を通して、個に応じたきめ細かな指導を図る。 ③ テスト前に補習形式の質問教室を実施し、個別の指導にあたる。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上	① 学校行事や諸活動では、目的や方法の共通理解のもと、教職員全員が協力して業務に取り組む。 ② 生徒理解や配慮を要する生徒の適切な対応を図るために、SC、MS、SCMと学級担任との連携を密にし、全職員で情報共有や協力した取組を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上	① 出退勤記録の入力やリフレッシュデーの設定により、勤務時間の意識化を図るとともに、諸会議録や連絡事項、学年・教科間で共有できる電子データを活用して業務の効率化を行う。 ② 校務運営委員会や職員会議を活用して、学校行事の円滑な運営や計画的な学年経営を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 70%以上	① 小中情報交換会、児童生徒指導強化連絡会、あいさつ運動、小学6年生の中学校訪問などを実施し、小中交流の機会をつくる。 ② 地域学校園教職員研修の授業研究を各小中学校で行い、その指導法や成果等を共有することによって、教科指導力向上に向けた取組を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 70%以上	① 地域コーディネーターとの連携を図り、図書や学習活動等のボランティアなど、地域人材を活用した諸活動を推進する。 ② 教育活動における地域の教育力を生かした特色ある活動を学校だよりやHPなどで、積極的に情報発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 地域の肯定的回答 70%以上	① 清原中学校地域協議会の協力を得て、学習ボランティアや校内環境整備活動等を展開しながら学校運営の充実を図る。 ② 地域協議会だよりで学校の取組や生徒の様子などの情報を発信してもらう。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上	① 月1回の安全点検を行い、危険箇所の早期発見・早期対応を図る。 ② 台風や地震、落雷、降雪などの災害発生前後に校舎内外の巡視を行い、危険回避につとめるとともに、危険箇所の早期発見・早期対応を図る。 ③ 防犯カメラで、来校者をチェックするとともに、校門を登下校時以外は閉めておく。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 75%以上	① ＩＣＴ機器が使いやすくなるよう、職員室の棚に書画カメラやＤＶＤプレーヤー、ＣＤラジカセ等を置き、管理簿を用いて紛失を防ぎ、定期的にメンテナンスをするなど、保管・整備を工夫する。 ② 必要図書アンケートを教職員や生徒に行って希望図書を購入し、学習に活用しやすいように、テーマ別にコンテナに分けて置いたりする。 ③ 不足している図書などは地域学校園で相互貸借する。	【達成状況】 【次年度の方針】
本 校 の 特 色 ・	B1 生徒は、家庭学習の習慣化を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、自主的に家庭学習に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上	① 生徒会学習委員会が中心となり、自主学習ノート提出の呼びかけやチェックを毎日行う。未提出の生徒へは、学級担任が学習の仕方等を個別に指導にする。 ② 各学年最初のガイダンスで具体的な家庭学習の仕方を指導したり、保護者にも見守りを依頼したりすることで、家庭学習への気運を高める。 ③ 生徒会学習委員会が、年間４回、自主学習ノートを毎日提出できた生徒を表彰したり、優秀なノートの展示を行ったりすることで、家庭学習の充実への機運を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
課 題 等	B2 生徒は、草花栽培活動やクリーン活動に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、草花栽培活動やクリーン活動に取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 80%以上	① 生徒会緑化委員会による花壇の整備を行うことで、中庭の緑化環境を向上させ、緑化委員の取組として周知する。 ② 学年ごとの校内クリーン活動を年３回、１１月に地域におけるクリーン活動を行い、環境美化の意欲を高め、生徒がより主体的に活動が行えるように働きかけていく。 ※昨年の項目 ＰＴＡと合同の校内クリーン活動	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	B3 学校や家庭や地域は、生徒が安全に登下校できるように、交通ルールやマナーを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「学校や家庭や地域は、生徒が安全に登下校できるように、交通ルールやマナーを守るよう指導してくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上	① 交通安全教室を実施し、交通安全への意識を高めるとともに、月1回の登校指導や日頃の交通マナーを確認し、生徒の通学状況および危険個所の把握に努める。 ② 部活動終了後の日々の下校指導や、PTAの年間を通した下校指導、年2回の自転車点検を行うことで、安全に登下校ができるよう指導する。 ③ 交通安全委員が帰りの会で反射ベスト点検やヘルメットのあごひも点検を行い、安全に登下校できるよう呼びかけをさせる。 ④ 交通事故が発生した際は、教職員が現場に出向いて現状確認と適切な対応処置を行い、再発防止に向けて全生徒に指導を行う。	達成状況】 【次年度の方針】
------------------	--	--	------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。